

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-190027

(P2016-190027A)

(43) 公開日 平成28年11月10日(2016.11.10)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 6 3 B 69/36 (2006.01)	A 6 3 B 69/36	5 2 1 A
A 6 3 B 61/00 (2006.01)	A 6 3 B 61/00	B

審査請求 未請求 請求項の数 20 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2016-63918 (P2016-63918) (22) 出願日 平成28年3月28日 (2016. 3. 28) (31) 優先権主張番号 14/673, 827 (32) 優先日 平成27年3月30日 (2015. 3. 30) (33) 優先権主張国 米国 (US)	(71) 出願人 516091891 チン、ファン Q i n , H u a n g カナダ国 エム2エヌ 3エム3 オンタ リオ州、トロント、エルムウッド アベニ ュー 1 5 9 1 5 9 E l m w o o d A v e n u e , T o r o n t o , O n t a r i o M 2 N 3 M 3 C a n a d a (74) 代理人 100130111 弁理士 新保 育 (72) 発明者 チン、ファン カナダ国 エム2エヌ 3エム3 オンタ リオ州、トロント、エルムウッド アベニ ュー 1 5 9
---	---

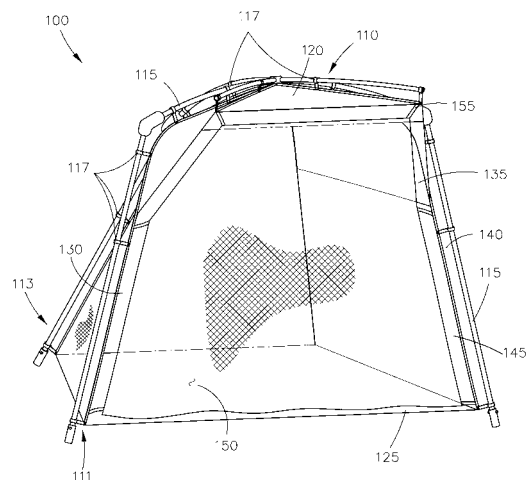
(54) 【発明の名称】 ゴルフ練習用テント

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】使用者が本物のゴルフボールを使用することを可能にし、使用者への安全性リスク及びゴルフ練習用補助器具への損傷の可能性を低減したゴルフ練習用補助器具を提供する。

【解決手段】天井120、底面125、及びテント110に打ち込まれたゴルフボールを受け入れるための正面開放部145を有するテント；テントを構造的に支持する、少なくとも部分的にテントの外部にあるフレーム部材115；並びにテントの天井に連結されてテントの背面パネル130からは分離し、それにより天井から緩く掛けられて底面に向かって延長している平坦なネット150を備えるゴルフ練習用テント100に関するものであり、前記ネットは、テントに打ち込まれたゴルフボールがネットに接触するように正面開放部の後方に設置する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ゴルフ練習用テントであって：

天井、底面、及びテントに打ち込まれたゴルフボールを受け入れるための開放面を有するテント；

前記テントを構造的に支持する、少なくとも部分的に前記テントの外部にある剛性フレーム構造体；並びに

前記テントの前記天井に連結されて前記テントの背面パネルからは分離し、それにより前記天井から緩く掛けられて前記底面に向かって延長している平坦なネット

を備え、前記ネットは、前記テントに打ち込まれたゴルフボールが前記ネットに接触するように開放面の後方に設置することを特徴とする、ゴルフ練習用テント。

10

【請求項 2】

複数のファスナーがネットに沿って間隔をとって置かれ、各ファスナーは前記ネットの一部を前記テントの一部に取り付けるように対応させることを特徴とする、請求項 1 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 3】

前記テントは折畳んだ状態と組立てた状態とで変形可能であることを特徴とする、請求項 1 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 4】

前記ファスナーの各々はストラップであることを特徴とする、請求項 2 に記載のゴルフ練習用テント。

20

【請求項 5】

前記ネットは、ゴルフボールを受け入れるように対応させた少なくとも 1 つのポーチを更に備えることを特徴とする、請求項 2 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 6】

前記剛性フレーム構造体は一式の正面フレーム部材及び一式の背面フレーム部材を備え、該背面フレーム部材の各々は背面部材を拡大する場合などに延長可能であり、前記テントの前記底面は前記テントの前記開放面に向かって傾斜していることを特徴とする、請求項 1 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 7】

前記ネットは該ネットから緩みを解消させるための引き紐を更に備えることを特徴とする、請求項 3 に記載のゴルフ練習用テント。

30

【請求項 8】

ゴルフ練習用テントであって、前記テントの天井に連結し、前記天井から緩く掛けられるように前記テントの背面パネルから分離している平坦なネットを備え、前記ネットは、前記テントに打ち込まれたゴルフボールが前記ネットに接触するように前記テントの正面開放部に近接しており、剛性フレーム構造体は前記テントを構造的に支持し、前記テントの底面は前記底面上のゴルフボールが前記テントから転がり出るように角度が付与されていることを特徴とする、ゴルフ練習用テント。

【請求項 9】

複数のファスナーは前記ネットに沿って間隔をとって置かれ、各ファスナーは前記ネットの一部を前記テントの一部に取り付けるように対応させることを特徴とする、請求項 8 に記載のゴルフ練習用テント。

40

【請求項 10】

前記複数のファスナーのうちの少なくとも 2 つは前記ネットを前記テントの前記正面開放部に近接させて取付けることを特徴とする、請求項 9 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 11】

前記ネットは、ゴルフボールを受け入れるように対応させた少なくとも 1 つのポーチを更に備えることを特徴とする、請求項 8 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 12】

50

前記テントの前記剛性フレーム構造体は一式の正面フレーム部材及び一式の背面フレーム部材を備え、該背面フレーム部材の各々は背面部材を拡大する場合などに延長可能であり、前記テントの底面は前記テントの前記正面開放部に向かって傾斜していることを特徴とする、請求項 10 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 13】

前記ネットは該ネットから緩みを解消させるための引き紐を更に備えることを特徴とする、請求項 12 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 14】

ゴルフ練習用テントであって：

天井、底面、及び前記テントに打ち込まれたゴルフボールを受け入れるための正面開放部を有し、折畳んだ状態と組立てた状態とで変形可能である折り畳み式テント；

前記テントを構造的に支持する、少なくとも部分的に前記テントの外部にあるフレーム構造体；

前記テントの前記天井に連結されて前記テントの背面パネルからは分離し、それにより前記天井から緩く掛けられて前記底面に向かって延長し、前記テントに打ち込まれたゴルフボールが接触するように前記正面開放部に近接して設置された平坦なネット

を備え、複数のストラップが前記ネットに沿って間隔をとって置かれ、各ストラップは前記ネットの一部を前記テントの一部に取り付けるように対応させることを特徴とする、ゴルフ練習用テント。

【請求項 15】

前記ネットは、ゴルフボールを受け入れるように対応させた少なくとも 1 つのポーチを更に備えることを特徴とする、請求項 14 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 16】

前記フレーム構造体は一式の正面フレーム部材及び一式の背面フレーム部材を備え、該背面フレーム部材の各々は背面フレーム部材を拡大する場合などに延長可能であり、前記テントの前記底面は前記テントの前記正面開放部に向かって傾斜していることを特徴とする、請求項 14 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 17】

前記ネットは該ネットから緩みを解消させるための引き紐を更に備えることを特徴とする、請求項 14 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 18】

前記テントは該テントの前記正面開放部のコーナー部に設置された少なくとも 1 つの三角形パネルを更に備えることを特徴とする、請求項 14 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 19】

前記テントは、該テントの側面に設置され、側面に沿って前記テントの外側に延長している少なくとも 1 つの長方形パネルを更に備えることを特徴とする、請求項 14 に記載のゴルフ練習用テント。

【請求項 20】

前記折り畳み式テントは 10 秒未満で展開及び組立てができるように構成され、前記折り畳み式テントは実質的に水平な面であればどこでも設置できるように構成されることを特徴とする、請求項 14 に記載のゴルフ練習用テント。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、スポーツ分野、より具体的にはゴルフスポーツ用のトレーニング補助器具に関する。

【背景技術】

【0002】

ゴルフのゲームはよく知られており、世界中の多くの人々が楽しんでいる。多くのゴルフプレーヤーがゴルフ練習場で様々なゴルフクラブを使用してゴルフボールを打ってゴル

10

20

30

40

50

フゲームを練習していることは周知である。また、多くのゴルフプレーヤーが剛性の金属フレームに囲まれたネットにゴルフボールを打ち込むことでゴルフの練習をしていることは周知である。更に、ゴルフ練習用テントに直接ゴルフボールを打ち込んでゴルフを練習することもゴルフ業界では周知である。このようなテントは、一般的にぴんと張ったメッシュ又はネットで構成されたパネルを使用している。

【0003】

ゴルフ練習場に関し、上記練習場についての1つの問題は、ゴルファーがゴルフボールの打撃を練習するために広範な空間を確保しなければならないことである。また、ゴルフ練習場は高価であり、個人は悪天候ではゴルフ練習場を使用できない場合がある。剛性フレームに囲まれたネットに関し、上記ネットについての1つの問題は、多くの場合でこの
10
ような剛性フレームを分解し、搬送することが容易にできないということである。剛性フレームに囲まれたネットに関する別の問題は、このような器具を保管するために使用者は専用の領域を確保しなければならないことである。更に、剛性フレームに囲まれたネットに共通する問題は、高速で打たれたゴルフボールがネット又は他の生地を突き破る可能性があることである。

【0004】

現在、ゴルフ業界市場では、ゴルフ練習用テントを使用するときはゴルファーはパネル又はテントに直接ボールを打ち込んでいる。打撃の際にクラブ面からゴルフボールが離れると、ゴルフボールは危険と言える程の高速になる。剛性の、又はぴんと張ったメッシュパネルを有するゴルフ練習用テントに現在関係している1つの問題は、ぴんと張ったパネ
20
ルにゴルフボールが打ち込まれるとテントのパネルを介してゴルフボールが破裂する危害やリスクがあるということである。その結果、多くのゴルフ練習用テントメーカーや代理店は、テントの損傷のリスクやゴルファーへの傷害のリスクを低減するようにプレーヤーには硬質ゴルフボールの代わりに軟質又はプラスチック製ボールを使用することを促している。しかし、このようなボールはプレー中のゴルフの感覚を正確にシミュレーションしていないため、多くのゴルフプレーヤーはこれらのプラスチック製又はフェイクゴルフボールの使用に不満を示すか、又は嫌悪している。

【0005】

その結果、従来技術から改善され、より具体的には、使用者が本物のゴルフボールを使用することを可能にし、使用者への安全性リスク及びゴルフ練習用補助器具への損傷の可
30
能性を低減したゴルフ練習用補助器具が必要となる。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

ゴルフ練習用テントを開示する。本概要は、簡素化された形態の開示されたコンセプトの選択を紹介するために提供するものであり、これは提供された図面を包含する「詳細な説明」において下記で更に説明する。本概要は、請求した対象の主要な特徴又は本質的な特徴を特定することを意図したものではない。また本概要は、請求した対象の範囲を限定するために使用することを意図したものでもない。

【課題を解決するための手段】

【0007】

一実施形態では、ゴルフ練習用テントを開示する。上記ゴルフ練習用テントは、天井、底面、及びテント内に打ち込まれたゴルフボールを受け入れるための開放面を有するテント；テントを構造的に支持する、少なくとも部分的にテントの外部にある剛性フレーム構造体；並びに、テントの天井に連結されてテントの背面パネルからは分離し、それにより天井から緩く掛けられて底面に向かって延長している平坦なネットを備える。ここではテントに打ち込まれたゴルフボールがネットに接触するようにネットは開放面の奥に設置する。

【0008】

開示した実施形態の他の態様は、以下の説明に部分的に記載しており、一部はその説明

10

20

30

40

50

から明らかであり、あるいは開示した実施形態を実行することで把握することが可能である。開示した実施形態の態様は実現され、添付の特許請求の範囲で特に指摘した要素及び組み合わせにより達成される。請求されているとおり、前述の一般的説明及び以下の詳細な説明の両方は例示であり、説明に過ぎず、開示された実施形態を限定するものではないことは理解されているものとする。

【0009】

本明細書に組み込まれ、本明細書の一部を構成する添付図面は本発明の実施形態を説明し、明細書と共に、開示した実施形態の原理を説明することに有用である。本明細書で説明した実施形態は目下のところ好ましく、理解されているが、本発明は示された正確な配置及び手段に限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【0010】

- 【図1】例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テントの正面斜視図である；
- 【図2】例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テントの別の正面斜視図である；
- 【図3】例示的な実施形態に従った練習ゴルフ用テントの延長部材の側断面図である；
- 【図4】例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テントの側面斜視図である；
- 【図5】別の例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テントの正面図である；
- 【図6】別の例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テントの側面図である；
- 【図7】別の例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テントの上面図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下の詳細な説明は添付図面を参照している。可能な限り、同一の、又は類似の要素を参照しているこれらの図面及び以下の説明では同じ参照番号を使用している。開示された実施形態を説明してはいるが、修正、改造及び他の実装も可能である。例えば、置換、付加又は改変は、図面で説明した要素に対して行い、本明細書に記載した方法は、置換、並べ替えにより、又は開示した方法及び器具に追加的な工程もしくは部材を追加することにより改変可能である。従って、以下の詳細な説明は、開示した実施形態を限定するものではない。代わりに、開示した実施形態の適切な範囲は、添付の特許請求の範囲によって定義する。

【0012】

開示された実施形態は、テントに連結したネットを有するゴルフトレーニング用テントを提供することによって、従来技術での問題点を改善する。開示された実施形態は、身体的傷害のリスクや練習トレーニング用テントが損傷する可能性を低減しながらも使用者が本物のゴルフボールを使用することを可能にするゴルフトレーニング用テントを提供することにより従来技術から改善されている。また本発明は、容易に持ち運びができ、屋内及び屋外で保管可能な折畳み式トレーニング補助器具を提供することにより従来技術から改善されている。最後に、テント内に打ち込まれたゴルフボールをどのような速度でも保持し、これによりプレーヤーのゴルフボールの回収を容易にするゴルフトレーニング用テントを提供することで、開示した実施形態は従来技術から改善されている。

【0013】

図面を参照すると、図1は例示的な実施形態に従ったゴルフ練習用テント100の正面斜視図である。ゴルフ練習用テントはテント110を備える。テントは複数の剛性フレーム部材115を備えた合成フレーム構造に支持された生地又は素材を備える。一実施形態では、剛性フレーム構造は少なくとも部分的にテントの外部に存在する。テント製造分野の業者に周知であるように、剛性フレーム部材の各々は、フレーム構造が折畳み可能になるように他のフレーム部材にヒンジ式に、又は可動に連結し得る細長い棒状体を有する。テントの生地は複数のファスナー117によりテントに取り付けてもよい。本実施形態ではこのようなファスナーはストラップである。しかし、他のファスナーを使用してもよい。生地又は素材はコットン、キャンバス、ナイロン、メッシュ、ネット、防水性の素材、フェルト、ポリエステル又はこれらの任意の組み合わせから形成してもよい。このような

素材は限定を意味するものではなく、他の素材を使用してもよい。フレーム構造要素はアルミニウム、ガラス繊維、金属、木材、プラスチック又はこれらの任意の組み合わせなどの素材から形成してもよい。使用生地の種類に関し、このような素材は限定を意味するものではなく、他の素材を使用してもよい。

【0014】

なお、一実施形態では、テント110の生地はスリーブ又は複数のファスナーのシステムによりテントに取付けてもよく、例えばフック、ストラップ付きのトグル、又は面ファスナーを備えてもよい。開示した実施形態は、1つ以上の多様な形態のテントへの生地の取付け工程、並びに多様な形態のファスナーに対応している。

【0015】

本実施形態では、テントは折畳み式テントである。図1では、テントは完成品であるか、又は組立てられた状態である。使用しない状態では、テントは、容易に搬送及び保管できるように完全に畳んだ状態に折畳むことが可能である。折り畳み式テントは当業者に周知である。他の実施形態では、テントは永久に立てられたテントであってもよい。また、他の実施形態（図示せず）では、テントのパネルは、1枚の連続した生地の代わりに一体化してある別々の断片から構成されていてもよい。なお、一実施形態では、折り畳み式テントは10秒未満など非常に迅速に展開及び組立てができるように構成され、当該折り畳み式テントは実質的に水平な面であればどこでも設置できるように構成され、これにより消費者は上記テントに十分な空間を有する屋内又は屋外の場所であればどこでも上記テントを利用できる。

【0016】

テントは最後部113の反対側に最前部111を有する。図1に示すとおり、剛性フレーム構造に支持される場合、生地は天井120、天井の反対側にある底面125、及びテントの最後部で底面から天井まで架かっている背面パネル130を形成する。テントには、テントの最後部から最前部まで架かっている側面パネル135も備えられている。一実施形態では、側面パネルは天井から底面まで架かっている。しかし他の実施形態では、側面パネルは一部だけ天井から底面まで架かっている（図1参照）。

【0017】

最前部では、テントは、テントの内側に通じる開放面又は正面開放部145を有する正面パネル140を形成する生地を備えてもよい。開放面はテントで打ち込まれるゴルフボールを受け入れるように対応させている。一実施形態では、正面パネル140の最上区分は、ゴルフボールがネット150内に打ち込まれ、ネットに沿って上方に転がり続けた後、ゴルファーの方に跳ね返ることを阻止するように働く。本実施形態では、正面パネルの最上区分は、ゴルフボールがテントから転がり出てゴルファーの方に跳ね返ることを阻止する障壁として働く。別の実施形態では、正面パネル140の側面区分は、ゴルフボールがネット150内に打ち込まれ、テントの側面を転がりゴルファーの方に跳ね返ることを阻止するように働く。更に別の実施形態では（図4参照）、開示した実施形態は、正面パネルの側面区分が底面に接触しているコーナー部に設置された（パネル410などの）三角形パネルを備える。本実施形態では、上記の三角形パネルは、ゴルフボールがテントのコーナー部を介してテントから転がり出ることを阻止する障壁として働く。なお、本実施形態は三角形パネルを説明しているが、開示した実施形態は長方形、円形、又は不規則形状など、他のパネル用形状にも対応している。また、上記三角形パネルは折畳み式であってよい。

【0018】

更に別の実施形態では（図4参照）、開示した実施形態は、側面に沿ってテントから外側に延長し、底面に接触する長方形パネル420を備える。各長方形パネル420（テントの右側のもの及び／又は左側のもの）はテントに取り付け、側面に沿ってテントの外側に延長し、これによりゴルファーに対面する平坦面を形成する。本実施形態では、長方形パネル420は、ゴルフボールがテントに向けて打たれるがテントから外れることを阻止する障壁として働く。これらのパネルにより、テントに向けて打たれたときに打ち損うか

10

20

30

40

50

、又は逸れたボールを留めて回収することが容易になる。なお、本実施形態は長方形パネルを説明しているが、三角形、円形、又は不規則形状など、他のパネル用形状にも対応している。また、上記長方形パネルは折畳み式であってもよい。

【0019】

平坦なネット150はテントの天井120に連結する。場合により、ネット150は代替的又は追加的にテントの面(135、130、140等)にも取り付けられる。ネットは当業者に周知の、ネット製造に使用されるナイロン、結び目のある撚り糸、ロープ、又は任意の他の材料などの素材から構成し得る。ネットの開放部は、例えばゴルフボールがネットを通過することを防止するように対応させることが必要である。ネットは、背面パネル130から離れるように、そして天井から緩く掛けられてテントの底面125に延びるように取付ける必要がある。ネットの一部に沿って間隔をとって置かれた複数のファスナー又はストラップ155により、ネットがテントの一部に取り付けられる。本実施形態では、ネットを正面開放部又は開放面の後ろに配置し、ストラップで正面パネル及び天井に取り付ける。また、ネットが天井から底面に緩く掛けられてさえいれば、ストラップを使用してネットの一部を背面パネルに取り付けてもよい。ゴルフボールがネットに打ち込まれるときにネットがゴルフボールの速度を吸収するように、ネットを掛けるときは若干緩ませる必要があり、これによってテントへの損傷や個人への傷害が防止又は軽減される。

10

【0020】

一実施形態では、ネットはポケット又はポーチ160も備える(図2参照)。ポケット又はポーチは、ゴルフボールを受け入れるように寸法を合わせたネット上の円形開口部、及び開口部に入るゴルフボール全てを保持するように対応させたポケットの袋を形成する生地又は素材から成る。また、ポケット又はポーチの開口部の寸法は、難易度を調整するために変更することが可能である。例えば、プレーヤー又は個人がポーチ又はポケットの開口部にボールを打ち込む難易度を上げるために、開口部の寸法を小さくしてもよい。あるいは、プレーヤー又は個人がポーチ又はポケットの開口部にボールを打ち込むことを容易にするために、開口部の寸法を大きくしてもよい。

20

【0021】

操作中、プレーヤー又は個人は練習又はゲームのためにネット上のポーチを使用してもよい。プレーヤーは、ゴルフボールがポーチの開口を通過して袋に入るようにゴルフボールを打つためのゴールを設けることが可能である。プレーヤーは様々なチップショット及び正確さを必要とする他のゴルフショットを練習するためのこのようなゴールを使用することが可能である。

30

【0022】

なお、一実施形態では、底面125は単独でテントの背面パネル130に連結してもよい(縫製又はジッパーの使用を介して)。このことにより底面125が巻き返され、筒状体502になり(図5参照)、使用者が地面に接触できるようになり、公園や砂浜などの特定の状況で好ましくなる場合もある。

【0023】

図2は別の実施形態に従ったゴルフ練習用テントの別の正面斜視図である。図2は更に、テント100の多数の箇所ネットの一部を取り付けるストラップ155を説明している。図2はテントの背面パネル130並びに正面パネル140の多数の箇所にネットを取付けるストラップを説明している。

40

【0024】

一実施形態では、テントの最後部113にあるフレーム部材115には背面フレーム部材の長さを延ばすための延長部材205を備えることが可能である。図2は延長した状態のテントの背面フレーム部材を説明している。このように延長した状態では、テントの最後部113にあるフレーム部材の長さはテントの最前部111にあるフレーム部材より長くなり、結果として、テントの底面又は最下部125はテントの最前部に向かって傾斜する。底面がテントの最前部に向かって傾斜している場合、底面と地面との間の角度 β によ

50

り、テントに入る全てのゴルフボールは、概ねネットに保持されずにテントの最前部に向かって転がってくる。また、ネットには、ネットから緩みを解消させるための引き紐も備えてもよい。このような引き紐は当業者に周知であり、これを使用してネットを引き締めることが可能であり、そうすることでゴルフボールがネットに打ち込まれるときに、角度 β を形成するテントの最前部に向かってテントの底面が傾斜していると、ネットに打ち込まれたゴルフボールが更に容易に回収できる。

【0025】

一実施形態では、傾斜した底面125は、ガラス繊維製のボール又は他の剛性素材から構成できる側面補強ロッド602で支持することも可能である（図6参照）。底面125が緩むか又はU型の凹みを形成することを防止するため、側面補強ロッド602は、テント100の底部の両側に設置することも可能であり、これにより上記底面で張力が維持される。引き締められ、傾斜した底面125はテント100に打ち込まれたゴルフボール用の回収システムを備える。

10

【0026】

図3は更に、フレーム部材の長さを延長するための手段の一実施形態を説明している。図3は図2の線Aに沿って配した背面フレーム部材の延長部材205の断面図である。延長部材は、フレーム部材115の下端部を受け入れるように対応させた管状体とすることも可能である。対向している一对の穴又は開口部310が管状体に沿って配されている。対向している穴の各々は、フレーム部材115の下端部の可動ボタン315を受け入れるように対応させている。内側への力がボタンに掛かると各々のボタンは内側に移動するように対応させており、そのような力が解除されると元の位置に戻るようになっている。操作時、ボタンに掛かった力はボタンを内側に移動させ、これによりボタンは延長部材のボディを解放し、剛性フレーム部材は延長部材205のボディにある一式の穴の間で移動することが可能になる。フレーム部材を好ましい位置に配し、ボタンを一式の穴と位置合わせした後、内側に掛かった力をボタンから解除し、ボタンを元の状態に戻し、フレーム部材を延長部材の内側の位置で係止することが可能になる。延長部材により、使用者は使用者の好みに応じて剛性フレーム部材の長さを調整することが可能になる。しかし、他の実施形態も本発明の範囲及び精神内にある。

20

【0027】

一実施形態では、延長部材は、プラスチック、ポリマー、金属、合金、セラミック、炭素繊維などの可撓性素材、又は延長部材の可撓性を可能にする特性を有する他の素材から構成してもよい。

30

【0028】

対象は構造的特徴及び／又は方法論的動作に特異的な用語で説明してきたが、添付の特許請求の範囲で定義される対象は必ずしも上述の特異的な特徴又は動作に限定されるものではないことは理解されているものとする。むしろ、上述の特異的な特徴及び動作は特許請求の範囲を実施する形態の例として開示している。

【符号の説明】

【0029】

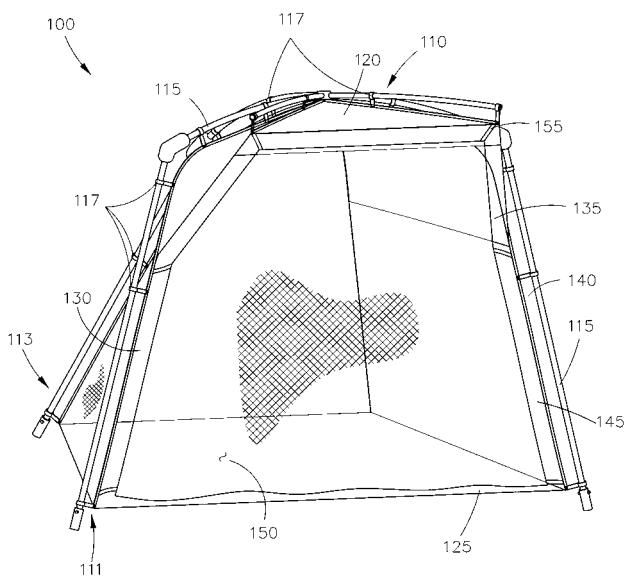
- 100 ゴルフ練習用テント
- 110 テント
- 111 最前部
- 113 最後部
- 115 フレーム部材
- 117 ファスナー
- 120 天井
- 125 底面
- 130 背面パネル
- 135 側面パネル
- 140 正面パネル

40

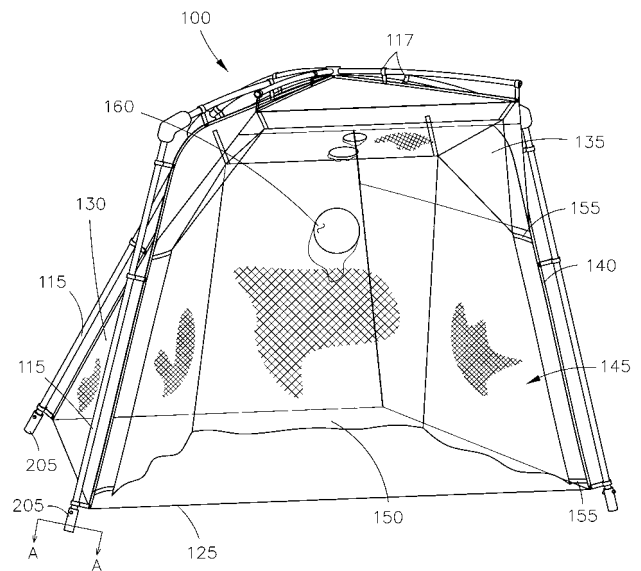
50

- 145 正面開放部
- 150 ネット
- 155 ストラップ
- 160 ポーチ
- 205 延長部材
- 310 開口部
- 315 可動ボタン
- 410 パネル
- 420 長方形パネル
- 502 筒状体
- 602 側面補強ロッド

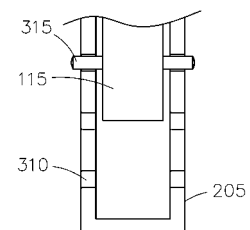
【図 1】



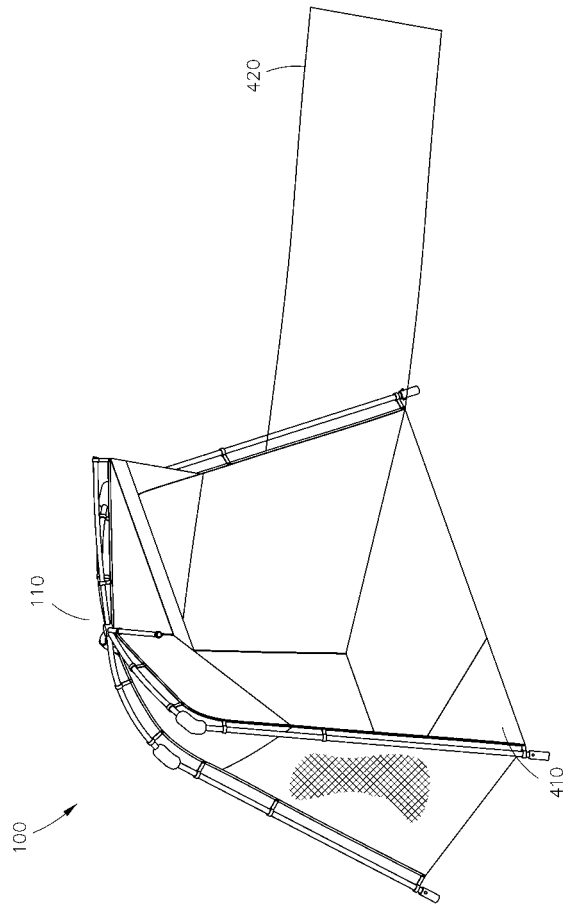
【図 2】



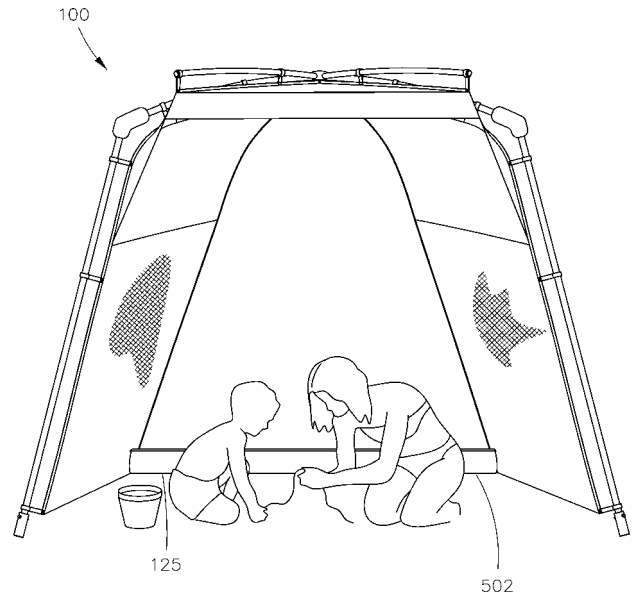
【図 3】



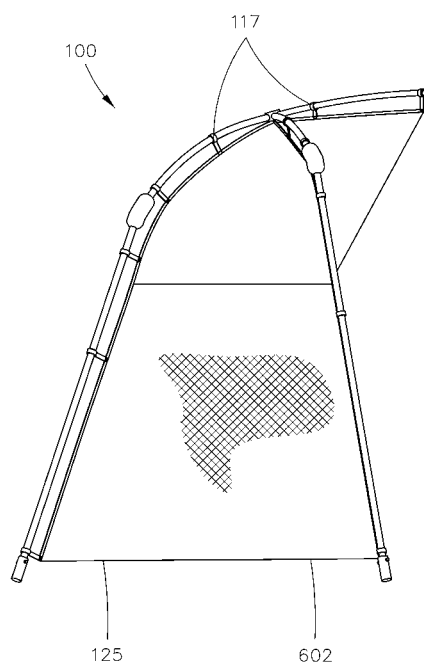
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

